

Title	岡本大輔教授退任記念号発刊にあたって
Sub Title	In honour of Professor Daisuke Okamoto
Author	牛島, 利明(Ushijima, Toshiaki)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2024
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.67, No.3 (2024. 8) ,p.19- 20
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	榊原研互教授・岡本大輔教授 退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20240800-0019

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

岡本大輔教授退任記念号発刊にあたって*

岡本先生は1981年に慶應義塾大学商学部をご卒業後、大学院商学研究科に進学され、大学院在学中の1983年4月に商学部助手に着任されました。その後、1988年に助教授、1996年に教授に就任され、41年の長きにわたって義塾に奉職してこられました。

岡本先生のご専門は、計量経営学、企業評価論で、多くの優れた研究業績を発表されているほか、学会活動にも意欲的に取り組み、日本経営学会、組織学会、企業と社会フォーラムなどで活動され、企業と社会フォーラムでは長く理事として学会運営に携わり、経営学研究の発展に注力してこられました。また、MIT スローンスchoolの客員研究員、ブラウン大学経済学部客員特別研究員、ニューサウスウェールズ大学経営学部客員教授、ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ客員慶應フェローを務められるなど、国際的にもご活躍なさっています。

教育面でも、ご担当の経営学関連の授業や研究会を通して、多くの学生を社会に送り出し、本日も多数ご参加されているのではないかと思います。研究会では29期500名以上の学生を育ててこられました。

商学部・大学院商学研究科では、2019年から2023年にかけて学部長を務められたのを始め、就職部長（2009～2017年）、教職員評議員（2018～2019年）、大学院商学研究科委員長（2019～2020年）、体育會庭球部長（2021～2024年）を務められるなど、さまざまな領域で、商学部・商学研究科、そして義塾全体の発展のために尽力されました。

私は1987年に学部4年生で大学院を受験しましたが、その際の試験監督を務めておられたのが助手時代最後の岡本先生で、当時、まだお名前は存じ上げておりませんでしたけれども、颯爽とした若い先生がその場を仕切られているお姿が、その時に抱いた憧れの気持ちとともに強く印象に残っております。

岡本先生とは、その後30年間にわたって、たびたび委員会などでご一緒し、いつもそのリーダーシップに助けて頂いて参りましたけれども、この場をお借りして、一学部教員としてとりわけ感謝をお伝えしたいのは、コロナ禍の時期のことでございます。

岡本先生が学部長に就任されて約半年後の2020年の春にコロナ禍が発生し、大学キャンパスは閉鎖され、すべての授業をオンラインで行うことになりました。学部長職は平常時でも判断に迷

* 本稿は2024年2月24日に慶應義塾大学三田キャンパスで行われた、岡本大輔教授退任記念講演（最終講義）において、当時の学部長であった牛島利明が冒頭に先生をご紹介したご挨拶に加筆訂正したものである。

う難しい事柄に向き合わなければならない役職でございますので、教員同士も対面で会うことができない中で、これまでまったく経験のない出来事について、一つ一つ判断して対処しなければならないという状況がいかに過酷なものであるかは容易に想像できると思います。

商学部がコロナ禍の期間を乗り切ることができたのも、岡本先生が学部長職にあったからではないかと思います。我が身を顧みますと、「仕事が人を選ぶ」という言葉が常に真実であるとは思えないのですけれども、岡本先生の場合には、まさに的を射た表現ではないかと感じております。

岡本先生は長く商学部の中心人物として活躍してこられました。皆さんもよくご存じの通り、お酒を通じた交流の場においても、学部の中心として欠くことのできない存在でした。その意味でもコロナ禍の時期のご苦勞がしのばれますが、交流面も含め、これからも商学部・商学研究科と義塾の発展にご助力を賜れば幸いです。

岡本先生、どうもありがとうございました。

2024年3月

商学部長 牛 島 利 明